

第2回 森林活用型ワークショップ検討会議 議事概要

1 開催日時

令和3年(2021年)11月10日(水) 14:00~16:00

2 形式

Zoom ミーティング形式

3 主催

北海道水産林務部森林環境局森林活用課

4 出席者

P.3「出席者名簿」のとおり

5 議題

(1) イントロダクション

14:00 開会

主催者挨拶・・・北海道水産林務部森林環境局森林活用課 課長 小笠原 昭二

出席委員紹介

14:05 本日の進行・・・株式会社北海道博報堂 新どさんこ研究所 所長 山岸 浩之

(2) 第1部 制作物のご確認とご意見

14:10 利用者向けガイドブック*¹について

14:25 市町村向け導入手引き*²について

14:45 質疑応答/第1部の総括

・・・株式会社北海道博報堂 新どさんこ研究所 所長 山岸 浩之

※1 企業等がそれぞれのニーズにあわせて、森林を活用したワークショップや企業研修を実施出来るよう、道内各地の森林体験プログラムを提供しているフィールド等に関する情報を集約した冊子 (R3 委託事業により現在制作中)

※2 森林を活用したワークショップの取組事例や、企業が利用施設等に求める条件などを集約した冊子 (R3 委託事業により現在制作中)

(3) 第2部 “道民の森”についてのディスカッション

14:50 「道民の森」における森林活用型ワークショップ

・・・北海道水産林務部森林環境局森林活用課活用調整係 主査 安元 岳玄

14:55 意見交換

15:50 質疑応答/全体総括

16:00 閉会

6 内容

第2部の発表資料は別添のとおり。

なお、第1部では、制作中のガイドブック等を資料としたため公表しない。

(1)第1部(利用者向けガイドブック等に対する各委員からの主な意見)

○利用者向けガイドブックについて:制作中の素案に対する各委員からの主な意見

- ・ターゲットに、会社員やワーカーだけでなく、学生を入れても良いのではないかな。
- ・現在、観光や研修系のワーケーションが乱立、家族と一緒に森の大切さを学び合う「家族」や「学び」がキーワードとなるワーケーションが良い。
- ・会社員が土日に自己研鑽のために参加する研修もワーケーションのくくりに入れても良い。
- ・同じデスクワークを、ワーケーションとして森林の中で行う、自宅で行う、会社で行う、これら3つの仕事の効率を比較する実証実験データがあれば説得力が高い。
- ・プログラムや滞在場所、食事を相談できる窓口やコーディネート機関が載っていると良い。
- ・緊急事態宣言が解除されたものの、企業はなかなか遠方に行けない状況、いきなり全国をターゲットにするより、まずは、道内企業をターゲットにプログラムを洗練させてはどうか。

○市町村向け導入手引きについて:制作中の素案に対する各委員からの主な意見

- ・ターゲットは漠然と一般のワーカーというイメージだと思うが、東京からだとは交通費が高いため、個人事業主や自由裁量型の経営者などを対象にするというのも北海道らしい。
- ・利用された方の声をどこかに入れると、導入しようとする自治体の気持ち上がる。
- ・紙による伝え方も大事だが、最近は動画で伝える手段の方が早い。

(2)第2部(「道民の森」における森林活用型ワーケーションに対する各委員からの主な意見)

- ・北海道発信の木育という良い言葉があるので、もっと前面に出すと良い。
- ・森林浴も樹木観賞だけでなく、生活習慣病予防ツアーなど企業検診で引っかかった人を集めて、ガイドさんのもとで栄養管理するというようなコースづくりができると企業ニーズが増えるのでは。
- ・リピーターとなってもらうには、地元で活躍している起業家などと交流できる時間があると良い。
- ・移動の中で食材を買う、農業体験し収穫して持ち込むことができるとかプレイヤーとの連携も必要。
- ・子供向けのプログラムを作り、大人にさせるというのもあり。大人にとっても楽しく、学びもある。
- ・完全なものではなく、教えるより気付くなど本人が考える材料を提供することも大事。
- ・かつて当社の研修所は集団宿泊向きだったが、リノベーションして現在は全部個室。ワーケーションとして使うならプライベート空間の確保が大切。困難なら、チームビルドに舵を切るなども必要。
- ・アクティビティは見せ方。ユーザーにとって取り組みやすく魅力的で、現地ではしか体験できない感じで伝えることが大事。
- ・植樹は植えっぱなしではなく、リピートにつながるよう何かストーリーを持たせると良い。

7 今後の対応

- ・次回は、利用者向けガイドブック、市町村向け導入手引き及びPR映像の内容確認などを議題とし、1月下旬に開催予定。

第2回森林活用型ワークショップ検討会議 出席者名簿

検討委員(有識者)

氏名	所属等
末柄琢也	三井物産株式会社 北海道支社業務室長
麻生翼	NPO 法人森の生活 代表理事
木村俊介	株式会社博報堂 ビジネスデザイナー
藤本洋介	株式会社スノーピークビジネスソリューションズ 取締役
鈴木幹一	国立大学法人信州大学 社会基盤研究所 特任教授
大塚吉則	札幌国際大学スポーツ人間学部スポーツ指導学科 教授 医学博士
齋藤充	株式会社ノース・スター・トラベル 地域創成 Team 課長

議事進行・記録

氏名	所属等
山岸浩之	株式会社北海道博報堂 新どさんこ研究所 所長
菅谷環	

北海道

氏名	所属等
小笠原昭二	水産林務部森林環境局森林活用課 課長
石黒友伊	水産林務部森林環境局森林活用課 課長補佐
三上大公	水産林務部森林環境局森林活用課 主幹
浅利卓実	水産林務部森林環境局森林活用課 主査
安元岳玄	水産林務部森林環境局森林活用課 主査

事務局

氏名	所属等
池田匠	株式会社北海道博報堂 統合プランニング局ディレクター
藤山博史	株式会社北海道博報堂 統合プランニング局アカウントプランニング部アカウントスーパーバイザー